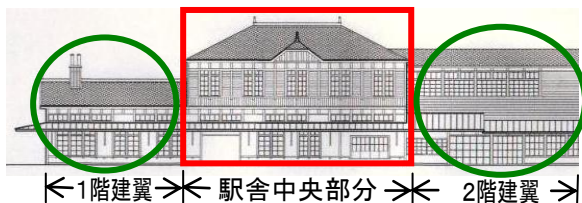


折尾駅東口『仮改札口』は、現在の「トイレ」の位置になると、平成22年9月発表！！

折尾のシンボル、『折尾駅舎』を保存活用しよう！！

＜提案＞

- ◆ 「折尾駅舎の中央部分」を、『曳き家』で移動して、「仮改札口」として活用する。
- ◆ 「仮改札口」で活用後、**両翼を増築**し、当初の『立体交差駅の形』にして保存活用する。



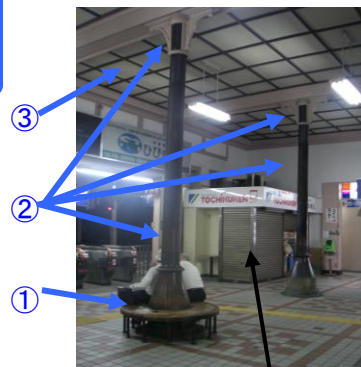
※「立体交差駅の形」

- ◆ 「折尾駅」は、『日本最古の立体交差駅』。
- ◆ 左右対称でない、アンバランスな駅舎の形こそが「立体交差駅」であることを証明。『日本唯一』。
 - ・筑豊本線の中間側が1階建。
 - ・鹿児島本線に隣接する側が2階建。
- ◆ 都道府県レベルの「有形文化財」の価値があると、土木学会や学識者は評価。

＜現状＞

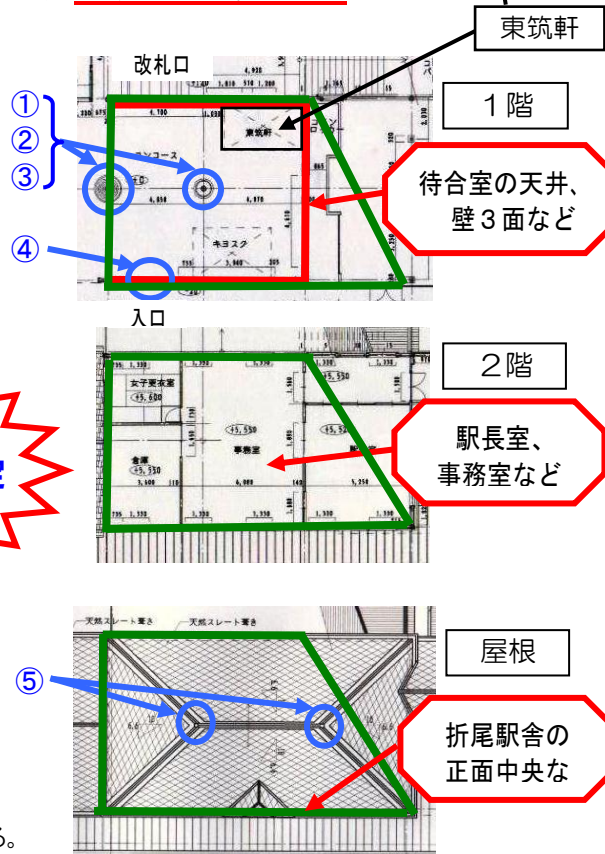
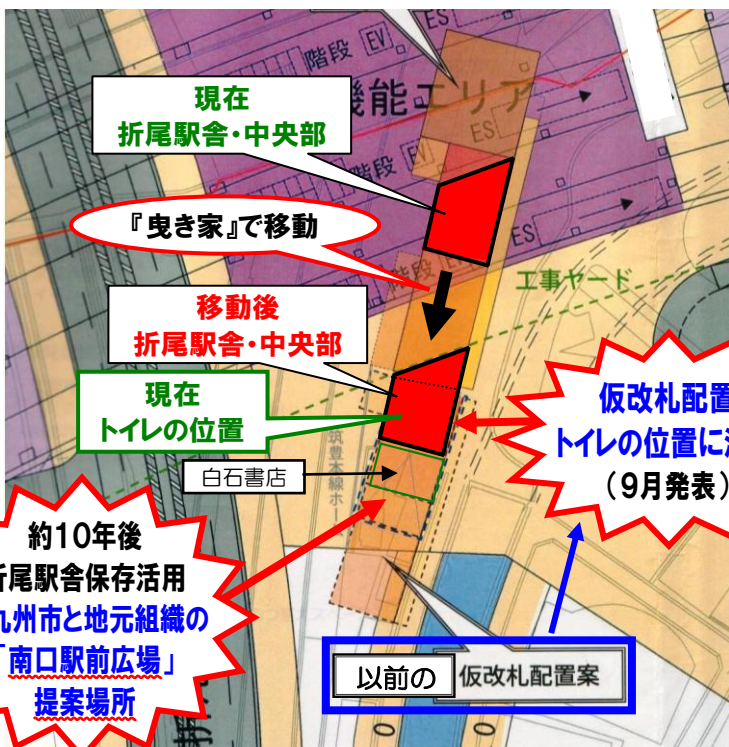
- 折尾駅舎は、線路高架事業のため、平成22年秋以降に取り壊し予定。
- 北九州市と地元組織が提示する「南口駅前広場案」は、『駅舎全体を解体』して約10年後、『レプリカで再築』するために、下記の部材をのみを保管する。

保管部材：①待合室木製ベンチ ②待合室化粧柱・柱補強飾り ③待合室格子天井 ④開口部廻りの装飾 ⑤屋根棟飾り



メリット

- ◆ 『折尾駅舎の中央部』を、保存活用した場合
- ◆ 折尾のシンボル、『折尾駅舎』として保存活用できる。
- ◆ 『曳き家』で移動するため、解体・再築が不要になる。
- ◆ 様々な部材を、現状のまま（本物）で保存活用できる。
- ◆ 『曳き家』での移動費は、約3千万円（当会調べ）。
- ◆ 「南口駅前広場案」（2億2千万円）よりも、**大幅な経費削減**になる。



※「駅前広場」の名称変更

現在の「折尾駅舎」のある『東口駅前広場』は、開発後『南口駅前広場』になる。

「歴史遺産『北九州市レトロ』を創る会」 <http://homepage3.nifty.com/orio/> 検索「折尾レトロ」 090-2710-6810

もし、このチラシがあなたの手元に2部以上届いたら次はあなたが誰かに届けて！道路に落ちていたら拾ってあげてください